

共につなぐ、
つくる、
沖縄と世界。



N P O 法人 レキオウィングスは、

真の 沖縄 の自立に寄与することを目的に、

青年海外協力隊 OBOG が中心となり 設立 されました。

スローガン

共につなぐ、つくる、沖縄と世界

Connect. Co-Create. Okinawa and the World

ビジョン

沖縄と世界をつなぎ、共創社会の実現を目指します

Connect Okinawa and the world in order to become an actualized co-creation society

ミッション

わたしたちは、地球市民を対象に、沖縄が有する独自の文化・歴史、亜熱帯性、島嶼性に適合した特色ある技術やノウハウ及びわたしたちの経験やネットワークを活かした**国際協力、国際交流、人材育成、地域活性化**などに関する事業を行い、真の沖縄の自立に寄与します

Okinawa has special skills and know-how due to its unique culture, history, tropical climate, and its island. We, Lequio Wings, implement the projects for all people in the world which are related to international cooperation, International exchange, human resource development, community development and so on through experience and network we have in Okinawa in order to achieve the sustainable development of Okinawa.



美ら島 未来のおきなわへの寄与をめざして

レキオウイングスは設立から 8 周年を迎えます。

当法人は、青年海外協力隊の OB・OG を中心に社会を変える意思のある有志が集い、沖縄と世界各地の人々・物を結びつける国際協力、国際交流、人材育成等の事業を通して、沖縄県の人的、経済的な真の自立に寄与するとの目的で設立された組織です。



設立以来、JICA 研修、草の根技術協力事業の実施、国際交流イベント「フィエスタ BOLIVIA×OKINAWA」、「ファン・アフリカ in 南城」、「フィリピン・ビクトリー・フェスティバル」の開催、障がいを持つ者の途上国体験プログラム「Fly Anay! (フライ・アナイ)」、「アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業」など、一貫して「共につながる、創る、沖縄と世界」につながる様々な事業に取り組んで参りました。

今般、レキオウイングスでは中期計画（2019-2021）を策定し、一層の組織強化を図るとともに、2030 年までの SDGs や沖縄 21 世紀ビジョンへの貢献、並びに JICA 沖縄センターとの連携強化や県内市町村・各種団体との協業などを明確に打ち出しながら、共に歩み発展する NPO を目指して事業内容の充実に努めて参る所存です。

つきましては、関係各位の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人レキオウイングス

理事長 安和朝忠

理 事 長 安和 朝忠

前青年海外協力隊進路相談カウンセラー
元沖縄県宮古支庁長

副理事長 串間 武志

青年海外協力隊・タンザニア派遣

副理事長 小倉 暢之

琉球大学名誉教授・学術博士

理 事 石川 督

シニア海外ボランティア・パプアニューギニア派遣

理 事 上原 敏彦

元沖縄県教育庁義務教育課長・元中学校長

理 事 仲本 茂雄

青年海外協力隊・タンザニア派遣

監 事 真栄城 孝文

えん行政法務事務所 所長

2011

- 4 月 レキオウィングス設立準備委員会を発足
- 11 月 「沖縄・モザンビーク音楽を通じた人材育成プロジェクト」実施
- 12 月 「中国・青少年育成分野の青年研修」支援業務の実施
- 12 月 27 日 NPO 法人として認証

2012

- 6 月 「共同売店応援プロジェクト」の開始
- 10 月 アフリカイベント「ファン・アフリカ in 南城」の開催
「ハートのまち・なんじょう・日豪ボランティア・パートナーシッププロジェクト」の実施

2013

- 2 月 障がいを持つ若者の途上国体験プログラム「Fly Anay！（フライ・アナイ）プロジェクト」の実施
- 8 月 コロニア・オキナワ入植 60 周年記念イベント「フィエスタ BOLIVIA×OKINAWA」の開催
JICA 沖縄市民参加協力事業「フィリピン・ネグロス島におけるハートのまちなんじょうモデル地域活性化プロジェクト形成調査」の実施
- 9 月 JICA 青年研修「大洋州混成・行政管理」の実施
- 10 月 JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」の実施（2017 年 4 月までに計 8 回の研修実施）

2014

- 9 月 JICA 草の根技術協力事業「フィリピン・沖縄県南城市モデルを活用したビクトリアス市アグリビジネス/アグリエコツーリズム強化プロジェクト」の開始（2017 年 3 月まで）
- 5 月/10 月 JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」の実施

2015

- 9 月 アフリカイベント「Fun Africa in Nanjo 2015」の開催
- 5 月/10 月/1 月 JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」の実施

2016

- 3月 障がいを持つ若者の途上国体験プログラム「Fly Anay！（フライ・アナイ）プロジェクト」第二期の実施
- 10月 外務省・日本 NGO 連携無償資金協力「ビクトリアス市の消防設備の充実を目指した消防車寄与支援事業」の実施
フィリピン・ビクトリー・フェスティバル in Nanjo 2016 の実施
- 12月 JICA 青年研修「フィリピン・アグリビジネス/アグリエコツアーリズム」実施

2017

- 4月 JICA 草の根技術協力事業「南城市・ビクトリアス市の自立的発展のための地域活性力強化プロジェクト」の開始
- 6月/11月 JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」の実施
- 8月「アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業（AY♡NIT）2017」の実施

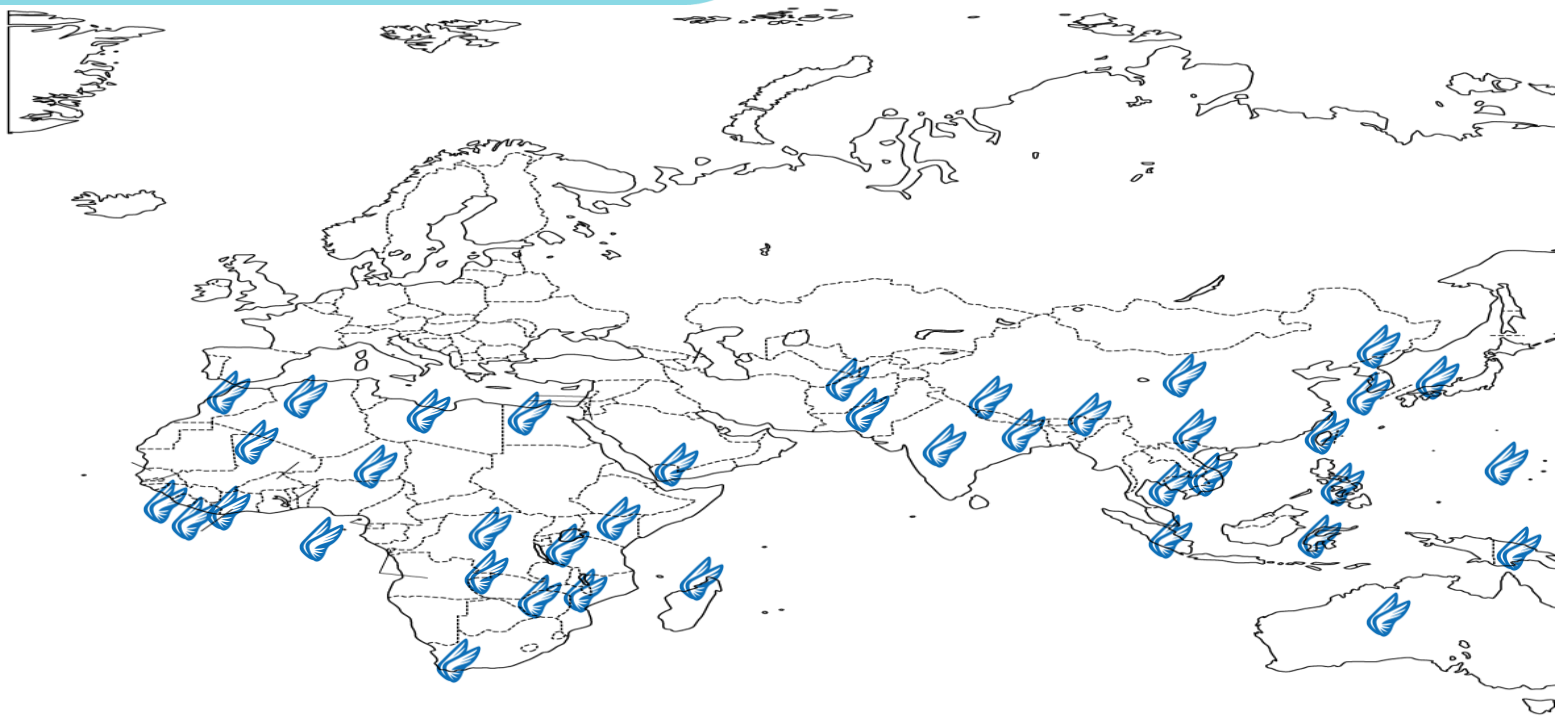
2018

- 4月 JICA 青年研修「フィリピン・アグリビジネス/アグリエコツアーリズム」の実施
- 6月/11月 JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」の実施
- 8月「アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業（AY♡NIT）2018」の実施
- 11月 JICA 日系研修「沖縄ルーツの再認識を通して学ソフトパワー活用と地域活性」の実施
「次世代 OKINAWA リーダーズミーティング」の実施

2019

- 2月 JICA 青年研修「フィリピン・アグリビジネス/アグリエコツアーリズム」の実施
- 4月「ビクトリアス市救急車輜と災害救助用機材の寄贈及び研修事業」の実施
- 6月「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」の実施

レキオウイングス事業別対象国



アフガニスタン、イエメン、インド、イラク、ウガンダ、ウズベキスタン、ウルグアイ、エジプト、オーストラリア、ガーナ、カンボジア、キリバス、クック諸島、ケニア、シエラレオネ、サントメ・プリンシペ、ザンビア、ジンバブエ、ソロモン諸島、タンザニア、ニジェール、ネパール、パキスタン、フィリピン、東ティモール、ブルキナファソ、マダガスカル、馬拉ウイ、南アフリカ、ミャンマー、モロッコ、モザンビーク

国際協力

国際交流

アルゼンチン、ブラジル、ペルー、ボリビア

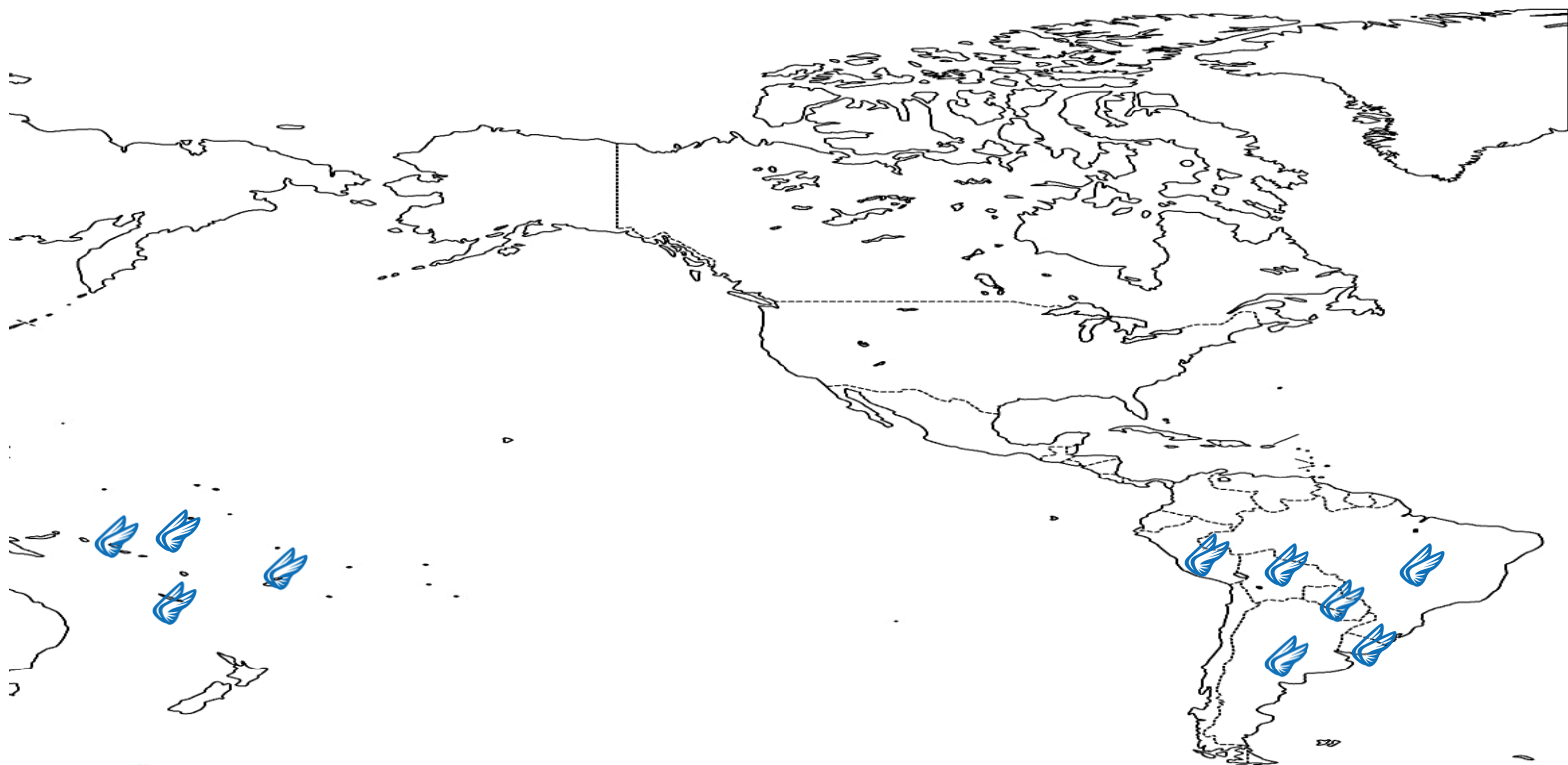
人材育成

伊江村、南城市、宮崎県、滋賀県、インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、韓国、中国、フィリピン、ベトナム、香港、タイ、ラオス

地域活性化

南城市、伊江村、渡嘉敷村

レキオウイングスは設立以来、沖縄を拠点に世界 43 カ国と地域の人々を様々な分野で、研修やプロジェクトなどを行ってきました。
沖縄の経験に根ざした研修を実施し、共に学び合える機会を創りながら、沖縄と世界をつないでいます。



レキオウィングス SDGs 宣言

レキオウィングスは、SDGs 達成に向けた事業に積極的に取り組んで参ります。



 SDGs って・・・？

2015 年 9 月に、ニューヨークで開催された国連総会「持続可能な開発に関するサミット」において、「貧困、不平等・格差、気候変動のない持続可能な世界の実現に向けて、2030 年までに目指すべき 17 の目標です。

互いに学びあい、

11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさ
を守ろう



15 陸の豊かさ
を守ろう



17 パートナシップで
目標を達成しよう



国土緑化推進機構緑の募金助成事業

「ハートのまち・なんじょう

日豪ボランティア・パートナーシッププロジェクト」

実施期間：2012年11月1日～11月6日

概要 要：南城市は、世界遺産である「斎場御嶽（せーふあうたき）」をはじめ貴重な歴史・文化史跡を有しており、沖縄の歴史、文化、信仰の原点の地となっています。こうした豊かな地域資源を活かし、①世界遺産の整備や森林・海の自然保護活動、②離島における植林地整備等のボランティア活動を行い、日豪ボランティア相互の自然環境保護の意識の向上を図りながら、ボランティア・地域住民の交流を深め、強固な信頼関係に基づく③地球規模の環境保護意識の醸成を図りました。全国各地およびオーストラリアから集まったボランティアは、外来種の伐採や下草刈りなど緑の環境保全活動に汗し、地域住民との交流も深めることができました。



1 貧困を
なくそう



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



10 人や国の不平等
をなくそう



16 平和と公正を
すべての人に



JICA 課題別研修

「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」

実施期間：2013年10月～2019年6月

研修員人数：35カ国（127名）

概要：これまで計13回の研修実施により、アジア、オセアニア、アフリカ等の研修員を受け入れました。

各国の教育課題を踏まえながら、日本や沖縄県の教育の歴史・特徴、教育行政制度や格差対策の取組についての講義だけではなく、離島研修や本島内の小中・特別支援学校訪問を通じて、沖縄県の教育行政、学校、保護者（地域）の教育に対する考え方や課題解決に向けての取組等について紹介する研修プログラムを展開し、各国の教育課題解決の一助となるよう努めています。また、小・中学校訪問における交流会の実施、研修員と教員による意見交換会など、沖縄県内の児童・生徒及び教員が本研修事業を通じて、国際交流・国際理解の場として活用できるような研修プログラムを計画・実施しています。



共に成長する。



JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

「南城市・ビクトリアス市の自立的発展のための地域活性化強化プロジェクト」

対 象 国：フィリピン

対 象 地 域：西ネグロス州ビクトリアス市

実 施 期 間：2017 年 4 月～2018 年 3 月

概 要：南城市とレキオウィングスは、2014 年 10 月から 2017 年 3 月まで「南城市モデルを活用したビクトリアス市アグリビジネス／アグリエコツーリズム強化プロジェクト」を実施、ビクトリアス市の政策、農業、観光分野における横断的な取り組みに成果をあげました。

この成果を踏まえ、本プロジェクトは第 2 フェーズとして 2020 年 3 月まで「持続可能で魅力的あるまちづくりをビクトリアス市職員が主体的に展開できる」ことを目標に開始されました。

フェーズⅡでは、事業を通じて育成された中核人材がビクトリアス市の自立発展モデルを提案できるよう（持続可能なまちづくりの推進力）になることを目標に事業を展開しています。



日本 NGO 連携無償資金協力

「リサイクル物資輸送事業として南城市から ビクトリアス市へ消防車・軽自動車・救助艇の寄贈」

実施期間：2016 年 2 月 15 日

概 要：2016 年度 NGO 連携無償資金協力（リサイクル物資輸送事業）として南城市からビクトリアス市へ消防車・軽自動車・救助艇を寄贈しました。2 月に南城市の古謝市長（当時）や島尻消防・清掃組合の職員が、同市からビクトリアス市に寄贈した消防車・軽自動車・救助艇の寄贈式典に出席しました。また、島尻消防・清掃組合の職員が地元の消防局の職員を対象に、消防車操作のデモンストレーションや救助救命に関する篤い実技指導を行いました。

本事業は、消防車・軽自動車・救助艇の寄贈は、沖縄県内外各所のご協力・ご支援があってこそ為しえたことです。



様々な国の人と

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



Fun Africa in Nanjo

実施期間：2012年10月27日、2015年9月27日

実施場所：南城市文化センターシュガーホール

概要 要：沖縄県内の青少年にアフリカや国際協力を知る機会を提供する人材育成の目的で2012年に開催し好評を得たアフリカイベントを2015年9月に「ファン・アフリカ in 南城 2015」として開催しました。

イベントでは、アフリカ音楽ライブ、ティンガティンガ体験、世界の絵本読み聞かせ、多国籍料理屋台、映画「世界の果ての通学路」上映、駐日タンザニア連合共和国大使の講演会などを企画し、アフリカ出身 JICA 研修員や県内のアフリカ出身者、一般参加者等約1,000名の来場があり、音楽や文化を通じた国際交流を楽しみながら大いに会場を盛り上げました。

タンザニアの次世代を担う青少年の人材育成として空手を指導するタンザニア剛柔流空手道協会を支援するため、中古空手着の寄贈を呼びかけました。イベント参加者や県内の空手関係者から寄せられた約200着の空手着は、タンザニアで空手を練習する青少年に寄贈しました。



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



フィエスタ BOLIVIA×OKINAWA

実施期間：2013年8月4日

実施場所：イオン南風原 一階 イベント広場

概要 要：コロニア・オキナワ入植60周年記念への布石として、戦後に故郷沖縄から雄飛し、ボリビアに渡った移民の歴史と現在のコロニア・オキナワについてのパネル展示、南米アンデス地方の音楽ライブ、ボリビア伝統舞踊公演、南米出身のウチナーンチュ子弟留学生による三線演奏だけではなく、沖縄本部を核として、アメリカ・ハワイ・ブラジル・ボリビア・ペルー・アルゼンチン・イギリスに支部を置く「世界若者ウチナーンチュ連合会 (WYUA)」と協働し、ボリビア留学生らのトーク、ボリビアと生中継でつなぎ、現地から「南米ボリビアに残る沖縄文化」を紹介する等のワークショップを行いました。特に若者を巻き込んだ人材育成を図りながら、「ウチナーネットワーク」の新たな「つながり」を創出する活動展開を打ち出すことができ、次世代の「ウチナーネットワーク」の構築に寄与しました。

沖縄で出会い、共有する。

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



フィリピン・ビクトリー・フェスティバル in 南城 2016

実施期間：2016年10月16日

実施場所：がんじゅう駅・南城

概要 要：沖縄県南城市役所は、当法人とともに2013年8月からフィリピン・西ネグロス州・ビクトリアス市の農業と観光を生かしたまちづくりを支援しています。その背景から南城市で行われているすばらしい国際的活動を市民に知っていただき、南城市民にフィリピンの文化、人々、音楽、食事や映画を紹介し、市民が南城市の新たな魅力を発見することを目的としフィリピン・イベントを実施いたしました。当日は約1千名以上の来場者があり、がんじゅう駅が一日フィリピンの風に包まれました。

このフェスティバルを行ったことで、南城市の魅力が高まり、沖縄県内における地域社会の国際化促進に寄与できたとおもいます。

サラマット！



17 パートナースhipで
目標を達成しよう



次世代 OKINAWA リーダーズミーティング

実施期間：2018年12月18日

実施場所：JICA 沖縄センター ニライホール

概要 要：次世代の沖縄を担うアルゼンチン、ブラジル、ペルー、ボリビアの沖縄県系社会で活躍する県系人と沖縄県で活躍する県系人・沖縄県民とのウチナーアイデンティティを活用した沖縄と世界への貢献策を提案することを目的として本事業を実施しました。

沖縄のアイデンティティを活用した沖縄への貢献策を共に考え、沖縄について考えることで沖縄アイデンティティの浸透を企図しました。

世界への貢献をSDGsのテーマ別で考えていくワークショップを通して参加者はお互いが顔の見える関係となり「ウチナーネットワークの継承・発展」にも寄与することができたと思います。

本事業で提案された沖縄と世界への貢献策を踏まえ、沖縄にルーツを持つ日系社会でのリーダーが、帰国後の現地日系社会の地域活性化のためのアクションプランを策定しました。沖縄アイデンティティを活用した沖縄と世界を考える本事業の成果は、このアクションプランの実現性を高めるための非常に重要な位置付けとなりました。

演舞

平田大・プロデュース中高校生による現代版組踊

懇親会

JICA日系研修員と親類大衆による世界エイサー大会合同演舞

意見交換会

JICA日系研修員と県民による沖縄アイデンティティを活用した次世代の沖縄と世界への貢献策の発表

講話

沖縄アイデンティティを活用した地域活性化 県政推進部次長 平田大

日程 2018年12月18日(火)

会場 JICA沖縄ニライホール3階 活動室(前田1143-1)

入場無料

プログラム

16:30~16:40 受付

16:40~17:30 意見交換会 / プレゼンテーション・ミングルの時間
テーマ「JICA日系研修員と親類大衆による沖縄アイデンティティを活用した次世代の沖縄と世界への貢献策の発表」

17:40~18:10 懇親会
JICA日系研修員と親類大衆による世界エイサー大会合同演舞

18:10~18:20 講話
「沖縄アイデンティティを活用した地域活性化」 平田大

18:20~19:00 懇親会
JICA日系研修員と親類大衆による世界エイサー大会合同演舞

ウチナーネットワーク活性化推進助成事業

第1回

次世代OKINAWA
リーダーズミーティング

1030世界の
ウチナーネットワークの日開通イベント

10:30

4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



フライ アナイ!プロジェクト

Fly Anay! Project



実施期間：2012年6月～2013年3月（第一期）、2016年3月（第二期）

実施場所：フィリピン

概要：フィリピンの言葉で、「まず、飛んでみよう!」を意味する、「Fly Anay（フライ・アナイ）」。

このプロジェクトが支援するのは、障害のある若者の「初めての海外体験」です。海外に行きたいなと思っ

ていても、これまで色々な理由で旅をすることができなかった若者をサポートしています。2013年2月に第一期生をフィリピンへ派遣しました。障害当事者団体の訪問、障害を持つ子どもの学習センターにてボランティア、ホームステイ体験など通じて、サポートが無ければ沖縄県内の離島にすら行けず、海外に出る夢も、自信も失いかけていた参加者がフィリピンの仲間に囲まれる中で発見した新しい自分や自分自身に自信をつけていき、新たな夢や目標に進んでいく一歩をサポートできました。出逢うべき人たちに

出逢い、沖縄ーフィリピンそれぞれの障害を持つ方々の可能性を開いていくプロジェクトになるよう努めています。



南城市・伊江村・渡嘉敷村広域連携事業

アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業(AY♡NIT)

実施期間：2017年8月3日～20日、2018年8月1日～15日

実施場所：南城市・伊江村・渡嘉敷村

参加青年：アジア11か国・地域22名（カンボジア、中国、インドネシア、インド、タイ、韓国、ラオス、フィリピン、シンガポール、ベトナム、香港）

南城市（宮崎県・滋賀県）・伊江村の計24名

概要：この事業はアジア諸国・地域の高校生が、東アジアのほぼ中心に位置する沖縄に一堂に会し、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の中で、共に生活して地域の課題に取り組んでいきます。体験・交流を深める中で、友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを学び国際的な人材の育成及び人的ネットワークの形成を促し、将来活躍できるグローバルな視野の持てる若者の育成を推進します。また、地域の魅力を再発見し、域外から訪れる若者の地域ファンを醸成し、地域活性化を図ることを目的としています。



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう





一般社団法人しまたて協会助成事業

共同売店応援プロジェクト

実施期間：2012年7月～2013年3月

実施場所：沖縄県内各地

概要 要：沖縄独自の「共同売店」による地域開発は、「共同売店モデル」ともいえる沖縄の素晴らしい財産です。今日の県内各地に残る共同店、共同売店の現代的意義を広く周知させるために、日本語・英語で冊子やマップを作成し、各共同店、共同売店に寄贈しました。それらを販売していただき、売上げをそのまま各店へ寄付することで、経営的支援を行います。また英語版を作成することで、外国人観光客を含めた海外の人にも共同売店を伝えま



JICA 日系研修

「沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性」

実施期間：2018年12月2日～12月21日

実施場所：沖縄県内各地

研修員人数：12名（アルゼンチン、ブラジル、ペルー、ボリビア）

概要 要：本研修は、沖縄にルーツのある日系人で、沖縄県人会等地域社会のリーダーを対象とし、沖縄の歴史・文化、戦後復興の歩みを学び、ルーツおきなわを再認識し、沖縄県の日系人に関する施策や県内関係者との沖縄県の将来についての意見交換を行いました。また、県内で活躍するトップランナーの活動に触れるとともに、リーダーシップについても学び、さらには、現地日系社会で活躍するリーダーとしての人材を育成し、地域コミュニティの活性化等を立案することで、日系社会のコミュニティの活性化と発展に寄与することを目的として実施しました。

本研修の一日一日、沖縄について考え、さらに多くの人々との出会いによって新しいドラマが生まれました。このような人と人との交流は非常に大切と研修参加者と沖縄の関係者双方から発言されており、双方が沖縄への想いを感じる契機を提供できたことから、ウチナーネットワークの発展に寄与できたと考えています。



レキオウィングスを応援する



レキオウィングスでは、趣旨に賛同いただき、各プロジェクトを応援して下さるサポーターを募集しています。

サポーターになる

種類	年間	
レキオサポーター (全活動を応援)	学生	3,000 円
	一般	5,000 円
	企業・団体	30,000 円

1. 会員の方には、活動報告書、イベントのご案内、レキオ応援ステッカー等を送らせていただきます。
2. 賛助会員は1年間のお申し込みになりますので、更新時は継続確認書を送付いたします。

特定非営利活動法人 レキオウィングス



<http://lequiowings.org/>



facebook.com/lequiowings



〒901-2121
沖縄県浦添市内間 2 丁目
21-30-405



info@lequiowings.org



098-943-8919
(FAX 番号も同じです)

レキオウィングス

検索

CLICK!

